

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	「移動大学」の生涯教育実践と自発的な参加による学び合う場との邂逅 —静岡市地域福祉センターとスタディサークルにおける民主的な参加を促す学習機会—				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤田 敬人
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	石井 由香
		所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸
		所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	湖中 真哉
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	富澤 かな
		所属・職名	独立行政法人国立青少年教育振興機構・研究員	氏名	両角 達平
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤田 敬人

講演題目	令和3年度の大学院国際関係学研究科附属グローバル・スタディーズ研究センターにおける 社会連携・社会貢献
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>令和3年度の移動大学では、これまでのグローバル・スタディーズ研究センターによる社会連携・社会貢献に係る実績を踏まえ、静岡市地域福祉共生センター（みなくる）との生涯教育の拠点形成を目指す中で、学界と市民社会の断絶、国境や文化の壁の断絶、高齢化社会での世代間の断絶を結び付け紐帯を強化する活動を重ねた。また、スウェーデンの生涯学習の取り組みをモチーフにしたスタディサークル（企画の名称としてはStudy CIRcle）を立ち上げ、市民が自発的な参加を通して学び合う場を形成するという、生涯学習を通しての民主的参加の理念を実践的に追究した。これにより従来の移動大学が目指していた紐帯の強化に民主的参加の理念を邂逅させるよう広報活動を充実させ、フライヤーの作成、ホームページ上での広報、学内掲示、静岡市民への周知などに注力した。それぞれの活動の具体的内容は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「CEGLOS 移動大学」での連続映像解説ワークショップとして、グローバル・スタディーズに係るテーマで映像作品・ドキュメンタリー作品の上映と解説者によるトーク、参加者との討論による学び合う場としてのイベントを開催した。 「映像で知ろう！外国人との共生」2022年2月12日（土）9：40～12：15 映像タイトル「ジャパニ ～ネパール 出稼ぎ村の子どもたち～」舞台（国）ネパール、日本 解説者：Keiko Yamanaka（カリフォルニア大学バークレー校エスニックスタディーズ学部講師） Dipesh Kharel（映像人類学者、東京大学情報学環客員研究員） ・「Study CIRcle 2021-2022」を開催し、参加者の興味と関心に応じて研究テーマを設定するとともに、テーマに関係する専門家をレクチャーシリーズとしてお招きした。参加者が講演会を運営するとともに、講演会終了後にレポートをまとめて報告会を開催した。レクチャーシリーズは合計7回、報告会は1回実施した。レクチャーシリーズでは「子どもの虐待と求められる支援～子どもの権利の観点から～」「カンボジアの子どもたちに権利ベースでアプローチすることとは」「韓国の教育格差是正政策—教育と福祉を架橋する学校の取り組み」「高学力国家シンガポールの教育の光と影—実力主義政策の功罪と今後の教育改革の動向—」等の7回分で、それぞれの回の運営を担当する参加者が報告書としてまとめているところである。